

橋梁個別施設計画

令和3年10月

太子町 まちづくり推進部 地域整備課

1. 背景と目的

地方公共団体が管理している、今後老朽化する道路橋（以下「橋梁」という。）の増大に対応するため、地方公共団体が長寿命化修繕計画を策定することにより、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへと管理手法の転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに修繕や架替えに係る費用の縮減を図り、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 対象施設

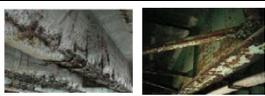
本町の町道に架かる、2 橋を対象施設とする。

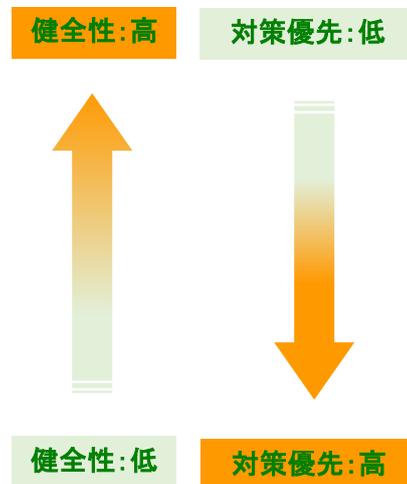
3. 計画期間

計画期間は、5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）とする。

4. 優先順位の考え方

橋梁の状態（劣化・損傷や要因等）の他、橋梁が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等を考慮し、対策を実施する際の優先順位について、以下に定めます。

対策領域	評価性能	損傷写真	健全性の診断結果
経過観察	健全		I
予防保全対策	耐久性の低下		II
早期修繕対策	耐荷力の低下		III
緊急対策			IV



なお、同じ健全性（例、ⅢとⅢ）を有する橋梁の補修優先順位については、重要な部材において損傷を有する橋梁のほか、道路利用者や町民への影響度が高い橋梁を優先的に修繕する考えとします。

5. 短期的な目標

●集約化・撤去

今後、維持管理費の負担増が想定されるため令和7年度までに、管理する41橋のうち数橋程度について、点検結果や利用状況を踏まえ、代替可能な老朽化した施設に対し、集約に伴う撤去を検討するとともに、通行を歩行者に限定するなどの機能縮小について実施することを目標とする。

●新技術等の活用

令和7年度までに管理する41橋全てについて、修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行うとともに、約1割程度の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする。

●費用縮減

令和7年度までに管理する41橋の1巡目点検において、従来技術を使用した41橋に対して、新技術等を活用した点検を実施することで費用を約1割程度縮減することを目標とする。

6. 個別施設の状況等

判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ	合計
0橋	2橋	0橋	0橋	2橋

7. 対策内容と対策時期

<対象橋梁一覧表>

	橋梁名	路線名	橋長(m)	幅員(m)	架設年	橋種	点検年	健全度	主な補修内容					
									R3	R4	R5	R6	R7	主な補修内容
1	伽山橋	伽山線	21.80	3.00	—	PC橋	2016	Ⅱ				設計	工事	伸縮装置取替
2	鹿向谷大橋	竹内春日線	193.00	6.50	1992	PC橋	2016	Ⅱ	工事	工事	工事	工事	工事	表面保護・ひび割れ充填
3	橋梁点検(41橋)	全域							点検	点検	点検			橋梁定期点検

8. 対策費用

計画期間	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
概算費用 (千円)	18,300	29,950	24,500	26,000	30,000